

『我が闘争』を読む ①多数決は指導者を他人の意見に従う横り人形にしてしまう事。 ②自分のすることに絶対の自信と責任をもてる人間。	『我が闘争』を読む ①他人の意思に流されてしまう事。 ②権威を持ち、自分の行動に責任を持つことができる人	『我が闘争』を読む ①他人の意思と意見の執行者に委ねられてしまう事。 ②自分の行為の結果に責任を持つ人	『我が闘争』を読む ①他人の意見ばかりに耳を傾けて自分の意志を削げないこと。 ②国民のトップに立つ責任を帯びる人
『我が闘争』を読む ①多数決にしてしまうと指導者は他人の意見に流されてそれに従うだけで良くなること。 ②自分の行為の結果に責任をもち、責任を押し付けてしまう事。	『我が闘争』を読む ①他人の意思と意見に合わせて執行者や指導者に責任を押し付けてしまう事。 ②最高権力と最大の責任を持つことができる人	『我が闘争』を読む ①指導者自ら考えるのを怠り、他人の意見や意志に頼ってしまう事。 ②最悪の権威と指導者として自分の行為の責任を押し付けてしまう事。	『我が闘争』を読む ①多数決は他人によって物事が進み自分が賛否に参加できないこと。 ②最高権威の権威を持つこと。指導者として自分の行為の結果に責任を持つこと。
『我が闘争』を読む ①指導者が他人の意見と意見をただ執行するだけになってしまう事。 ②自分の行為の結果に責任を持つことである。絶対力と行動力	『我が闘争』を読む ①指導者の意見が通らない事。 ②権威をもち、結果に責任	『我が闘争』を読む ①指導者が自ら考えるのを怠り、他人の意見や意志に頼ってしまう事。 ②最悪の権威と指導者として自分の行為の責任を押し付けてしまう事。	『我が闘争』を読む ①他人の意見ばかりに耳を傾けてしまう事。 ②責任を押し付けてしまうこと。責任を押し付けることができる人

活用場面

一斉学習  
教師による教材の提示

個別学習  
個に応じた学習

協働学習  
協働での意見整理

読み取った内容は「自分の言葉」で表現

2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16
2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16
2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16
2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16	2021年11月16日 12:16

意外に多くの生徒がファシズムに共感(青)している結果も一目瞭然

活用した機器等

Chromebook  
プロジェクター

活用したアプリ等

ロイロノート  
PowerPoint

学習のねらい

「ファシズムの台頭」を一斉授業で学習したあと、史料『我が闘争』を読み考える。一斉授業で学習した「民主主義の否定」とはどういうことなのかを史料の読み取りをもとに、自分の言葉でとらえなおし、理解を深める。

学習の流れ

**導入** 第1次世界大戦の結果を確認し、1920年代にイタリアとドイツでファシズムが台頭した過程を理解する。

**展開** 史料『我が闘争』の抜粋から、①ヒトラーが民主主義の何が良くないと言っているのか、②ヒトラーはどのような指導者が理想だと考えているのか、を各自で読み取り、自分の言葉でまとめなおす。それをロイロノートを使って共有する。さらに、「ヒトラーの理屈に共感できるか」の賛否を投票し、ロイロノートで共有する。

**まとめ** 投票の結果を閲覧しながら、ファシズムの考えは、現在でも魅力的なところもあること、それがどのような危険性をはらんでいるのかということを理解する。

ココでICTを活用!

教科書の内容を説明する時間を短くするために、板書はプロジェクターによる投影にし、ポイントを簡潔にまとめた。

史料を読んで自分の言葉でとらえなおした内容をロイロノートで提出させることで、表現の仕方の違いや過不足を生徒どうして確認して共有できる。また、自分の言葉でまとめなおすのが難しい生徒には、早く提出できた生徒の解答を見せることで作業のヒントとなる。

続いて、史料で述べられたファシズムの考えへの賛否を同じくロイロノートで提出させた。賛成できる人は青色、おかしいと思う人は赤色のシートを提出させて共有すると、クラスで多数派の考えが一瞬で視覚的にとらえられる。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ICTを活用することで個人の作業をクラス全体で共有することが格段に効率的になった。提出された解答を次々と画面に表示することで、個々の解答の小さな差異を比べたり、生徒ごとの工夫にも気づきやすくなり、教員は同じコメントを何回もする必要がなくなる。今回の授業では史料の読み取りを抜き書きではなく、自分の言葉でとらえなおした点良かったと思う。解答をみると、内容をどれほど理解しているかが一目瞭然であった。また、読み取った内容への賛否を色分けて聞いたことも、クラス全体の考えの傾向が視覚的にはっきりとわかり効果的であった。